BUS DRIVER JOB INFORMATION

Driver's Interview vol.5

「バス運転手」という仕事。

函館バス株式会社
指導乗務員 石川義治

今年4月から函館バスの昭和営業所に配属となった石川義治さん。今年で入社23年目を迎え、現在は自らも運転手でありながら「指導乗務員」という立場で運転手全体を取りまとめ、さらに運行管理も兼務する。

函館バスとの縁は子どもの頃までさかのぼる。彼の叔父は市営バス時代に運転手として昭和営業所に所属。幼少期にその姿を見ていた石川さんは、それ以来バス運転手という仕事にあこがれを抱いていた。20代になりいくつかの職を経て、24歳のときに大型二種免許を取得してあの頃の叔父と同じ職に就いた。

「まず運転手としては、座席についているお客様だけでなく、つり革につかまって立っているお客様にも常にやさしい『なめらかな運転』を心がけています。運行管理者としては、大事なのは気持ちの切り替え。運転手としてのキャリアが長い分、運転する側の気持ちはすごくわかりますが、そこを一旦フラットにして注意や指摘が必要なことは相手が年上でもしっかりと伝えなければいけないので。昭和営業所だけでも70人近くが所属してますし、個性派が多いので(笑)なかなか大変ですが大事な仕事だと思っています」自らもベテラン運転手だけに運行ルートで特に気を配るべきポイントは知り尽くしている。そんな石川さんの運行管理者としての指摘は繊細かつ的確であると評判だ。「人手不足と言われてるので不安に思う人もいるかもしれませんが、しっかり休みがとれる職場です。休日前は昼過ぎに仕事が終わり、休日明けも午後出勤が基本なので、その点もありがたいですね」。